

あなたも
わたしも
いごちのいい学校

日野小学校だより

令和6年度
須坂市立日野小学校
R6.11.8
No.9

♪♪♪ 「日野小音楽の日」 ♪♪♪

11月1日に校内音楽会「日野小音楽の日」が開催されました。今年度は、日野保育園の年長のみなさんも来ていただきました。大勢の皆様からの温かい拍手に支えられ、子どもたちも精一杯合奏や演奏を発表することができました。大変ありがとうございました。



オクレンジャーでのご感想もありがとうございました。一部ですが、ご紹介させていただきます。

- ・オリジナルの曲で、2年生の可愛らしい雰囲気伝わってくる発表でした。家に帰って家族みんなで一緒にビデオを見た時、子供が達成感でいっぱいの様子で嬉しそうにしていました。
- ・最後の音楽の日でしたが、今までの練習の成果が発揮できたと思います。栄光の架橋は、個人的に思い出の曲でしたので、感極まるものがありました。みんな上手に歌いきることができていましたね。
- ・合唱、合奏、音楽づくりなど、それぞれの学年で違った種類の演奏が聴けて楽しめました。特に6年生の歌声には力強さがあり、歌詞がしっかり伝わってきて、感動しました。
- ・PTA コーラス・先生方・合唱クラブがステージ上で歌い、全校児童・保護者も一緒に歌うという試みは、会場の一体感が出てとても良かった。
- ・毎日練習の様子を子どもから聞いていましたが、本番は子どもたちと先生方でたくさん準備されてきた成果に圧倒され、感動しました。お姉ちゃんの時代から何年も日野小音楽会に参加させてもらってききましたが、こんなに児童が自ら楽しんで取り組んでいる音楽の日は初めての体験でした。
- ・こうやって仲間と共同で歌を歌ったり合奏したりということは改めて学生時代の醍醐味だなと感じました。低学年は元気いっぱい、高学年はさすがな迫力があり元気をもらいました。
- ・昭和の人間にとって令和の音楽は本当に音を楽しんでいるんだなと、感じました。
- ・子どもたちの頑張る姿を見て、たくさんの成長を感じることができました。この日まで、授業で友達といろいろと話し合ったり、練習したり、それを一生懸命発表している姿が見れてとても嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・音楽の日、ありがとうございました。子どもの一生懸命に頑張る姿には胸が熱くなります。最後に校長先生が子ども達にお話された言葉、「音楽は流れていっちゃうけど、感動はいつまでも残るんだよ」本当にその通りですね。大きな感動をありがとうございました。

◎たくさんのご感想、ありがとうございました。また、ご意見やご要望などにもありましたが、前半が早く終わり、休憩が長くなってしまい申し訳ありませんでした。後半から聴きに來られる方のために後半の開始を早める措置はとりませんでした。今後はより正確に発表時間等を把握して、スケジュールを組んでいきたいと思っております。保護者、地域の皆様の声を大事に今後も学校運営を進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

11月 なかよし月間

校長先生のお話より(11/6)



なかよしの木

月間中によいところ探しをします。昇降口に飾ります。11月参観日の折にご覧ください。



全校の皆さんおはようございます。元気のいいあいさつありがとうございます。11月からなかよし月間が始まっています。「なかよし月間って、どういうことを考える月間ですか?」11月といえば、1日に「音楽の日」があったね。感動、感動、感動の嵐でしたね。今日は、その「音楽の日」を振り返りながらなかよしについて考えたいと思います。「音楽の日」は、何から始まりましたか。『翼をください』。そして、後半の最初は、『ドレミの歌』。そうですね。最後は『こころの中にきらめいて』だったよね?ドレミの歌は、お家の方も、お客さんも一緒に歌ってとても気持ちがいいと思いました。

はい、さらに振り返ってみたいと思います。ゴジラ VS 日野小は楽しいステージでしたね。あれを聞いて、こわ〜いゴジラだって、なかよしになれるかもと思いましたよね。色々な動物メドレー、それを聞いていて思ったのは、いろんな鳴き声もよく聞けば何を言っているのかわかるかもしれないと思いました。「地球星歌と Believe」一人一人がなかよく、信じ合えるかな。というメッセージでした。すごい合奏!「アフリカンシンフォニー」に、「ケセラセラ」で「生まれ変わるなら?また私だね。」という歌詞が出てくる。のびのびやっという歌だったね。



はい、次です。音楽クラブ。ポクとキミとが力を合わせれば、シーラカンスも恐竜もきつつかまえられる。「協力するって大事だね。」というメッセージです。「楽しい遠足も、雨上がりのお出かけもおともだちとだから楽しいんだね。」ということを感じました。

さて、今までのところで紹介しなかった曲が3つあります。それは歌詞を見ながら考えてもらえたらと思います。こんな歌詞でした。「かわただけだよ へんじやない わたしのチェンジ ぼくのチェンジ...」校長先生は小学生のころ一番前でした。秋になって風邪をひいて1週間休んで久しぶりに学校に行ったら一番後ろでした。1週間で10cm 背が伸びていました。すごいね。人それぞれ、どう変わるかは違いますね。

次は「コスモス」。これもいい曲ですね。「ぼくらはひとつ、みんなひとつ、君も星だよ。」生きるってすごいことだよ。あなたも私も大切な人だからこそ、自分も周りの人も大切にしなければいけない。校長先生が言いたいのは一生懸命生きること。一生懸命やること。いろいろポイントがあるね。たとえば勉強を頑張る人!一生懸命やっていることを笑っちゃいけない。『栄光の架橋』は、「悔しくて」と歌うところのタイミングがとても難しい。6年生のみなさんはとても上手になったね。ここで言いたいのはここですね。気がつけば誰かが支えてくれている。人は一人では生きていけない、誰かに支えられてだからこそ、真剣に支えてくれることを願っています。

さて、「音楽の日」を通して感じたことをたくさん話してきました。じゃあ、今日のテーマ『「なかよし」ってどういうこと?』その答えというのは校長先生が考える答え?校長先生が言うこと?答えは1つじゃないんだよね。その答えはきっと皆さん一人一人の心の中にある。そこをじっくり考えてもらって、何か答えが思いついたら是非教えてください。さて、今日は「音楽の日」を振り返りながらなかよしについて考えてもらいました。

それでは皆さん、自分が思うなかよしについて考えながら過ごしてください。みんなで居心地のいい学校にしましょう。

